

「光る! 半月キーホルダー (1)」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

(1) 記念きっぷに「光る半月」を

9月下旬に実施した、3年生の「学校宿泊」では、夜の屋上で、みんなで半月を観望した。



私は、みんなで見た半月を「一生の思い出」にするために、「光る半月」のついた、「きっぷ型キーホルダー」を作ることにした。



キップは、昔、駅の出札口で売っていた、硬いきっぷ(硬券)を模して作った。日付の字体も忠実に再現している。裏面は白で、子どもたちが自由に絵や文字を描けるようになっている。右側のスペースには、蓄光シートを半月型に切ったシールを貼る。

(2) 蓄光シートを半月型に打ち抜く

蓄光シートは価格が高いため、無駄のないように切り抜いて使う必要がある。半月型は、1枚ずつはさみで切り取ったのでは、あまりにも時間がかかり、仕上

がりも良くない。そこで、直径2cmの丸い用紙をくり抜けるパンチを使うことにした。



これがその実物である。ほかにも、ハート形、星型、桜の花型など、いろいろなものが市販されている。



これを逆さまにして、蓄光シートを半月型になるようにセットし、パンチ全体を下に強く押す。この方法だと、蓄光シートに無駄がなく、短時間で100枚以上の「光る半月」を作ることができる。

(3) きっぷの裏に絵を描く

目指すのは、「世界に一つしかない、一生の思い出のキーホルダー」である。小さな厚紙に絵を描くのはとても大変だ。しかし、どの子どもも、一生懸命にきっぷの裏に絵を描いていた。

